

BILZARD
ENTERTAINMENT

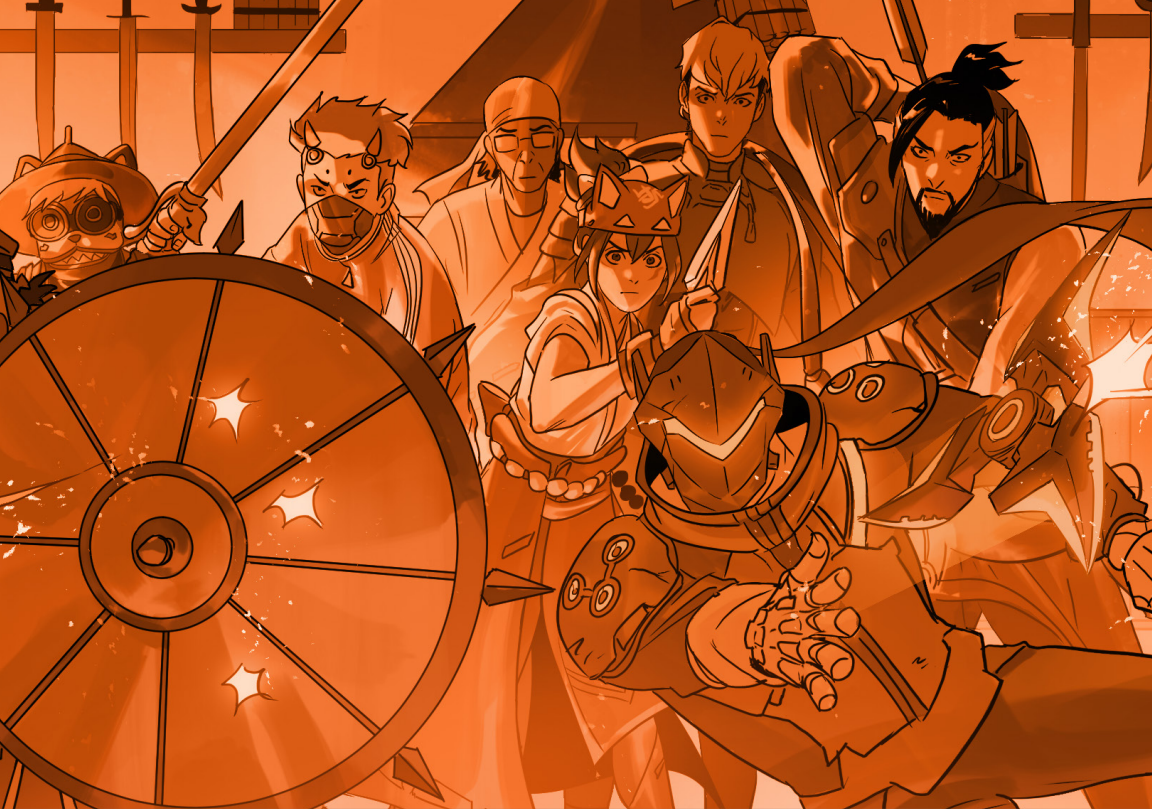
OVERWATCH®



私たちの道

CURTIS CLOW

YISHAN LI



私たちの道



オーバーウォッチが武器の取引現場を襲撃している間、ハシモト組の拠点に侵入することになったキリコたち。はたして、キリコはゲンジと父の敏郎をハシモト組とタロンの魔の手から救い出せるのか？そして父との再会はいかに…

作者: **CURTIS CLOW** アート&カバー: **YISHAN LI** 彩色: **MARIEL RODRIGUEZ**

英語活字デザイン: **ANDWORLD DESIGN** デザイン: **LIA RIBACCHI**

BLIZZARD ENTERTAINMENT

シニア・ディレクター、ストーリー&フランチャイズ開発: **VENECIA DURAN**

シニア・マネージャー、ライティング&ボックス: **MATTHEW COHAN** エディトリアル・スーパーバイザー: **CHLOE FRABONI**

シニア・エディター: **MEGAN WALKER** シニア・ブランド・アーティスト: **SOPHIE ERB**

プロダクション: **BRIANNE MESSINA, CARLOS GARCIA RENTA, TAKAYUKI SHIMBO, JT TORREA**

ゲーム・チーム・コンサルタント: **JEFF CHAMBERLAIN, MIRANDA MOYER, NESSKAIN, DION ROGERS, JUDE STACEY, JOSHI ZHANG**

日本語翻訳: **WATARU HIRATA**



Blizzard.com

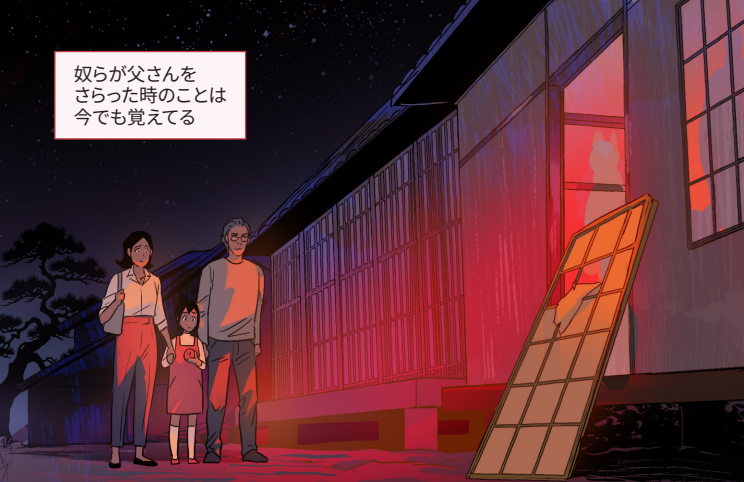
© 2026 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。

Published by Blizzard Entertainment.

本作品はフィクションです。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者または作画者の想像による産物または架空のもので、実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。

Blizzard Entertainmentは著者や第三者のウェブサイトまたはそのコンテンツを管理しておらず、それらについて一切の責任を負いません。

奴らが父さんを
さらった時のことは
今でも覚える



キリコ、ラーメン屋さんに逃げて
イチコさんと一緒に居なさい

わかったわね



いっちゃダメ!

アサ、キリコのことを頼んだぞ
…お父さんもママも
こうなることは覚悟していた



おとうさん!

心配するな
また会える



それが最後に見た
父さんの姿だった

ずっと会いたくて、会いたくて
父さんの声を思い出すのすら
辛い時期もあった



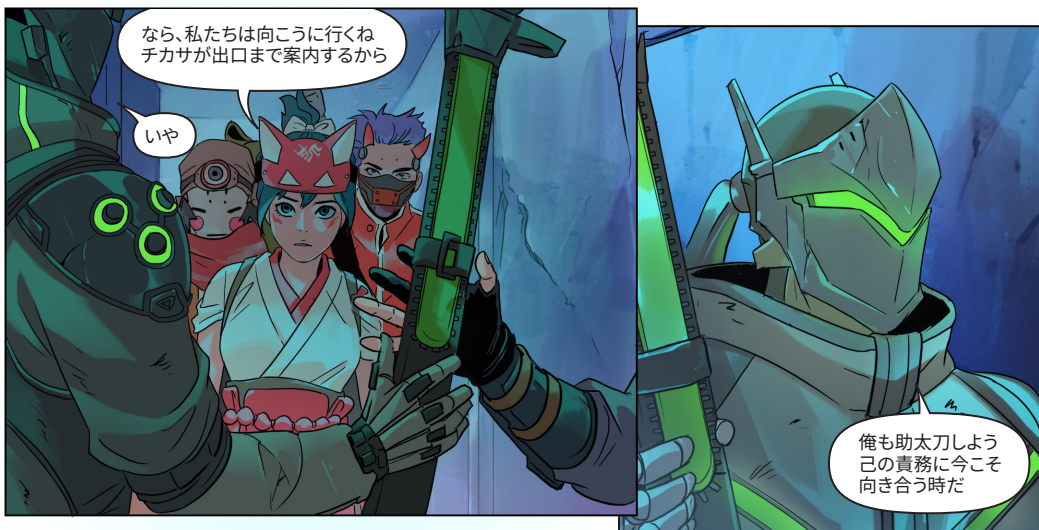
でも、父さんは
そんな時にも
私のそばにいてくれた

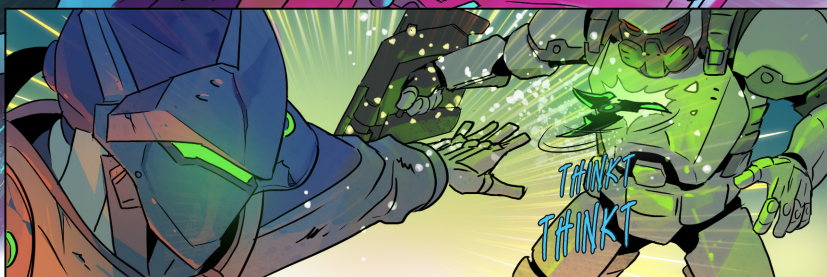


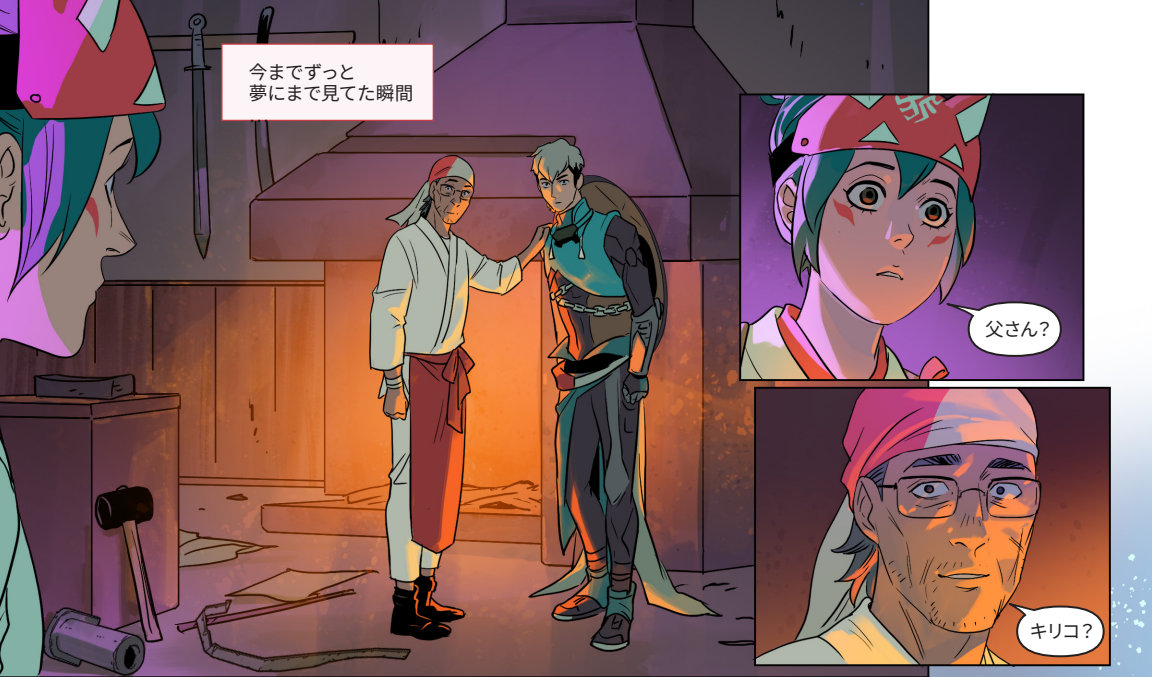
父さんがおばあちゃんに
かつて贈った御札——
これに触れることで
父さんを近くに感じられた

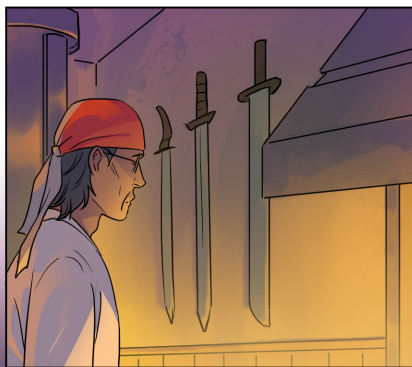
私の今の目標は
ハシモト組を止めて
カネザカを救うこと













こうして私たちの作戦は
成功に終わった

でも、私は…

…まだ納得できてなかった

“父から聞いたよ”

ミズキが小さい頃
父に武器を
作らせるための
人質だったって

どういこと？

ヨーカイを潰すための
モグラだったって訳？

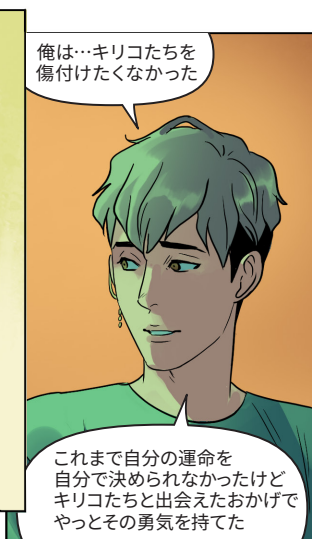
まあ…そんなとこだ

“俺を引き取った
幹部から手先として
使われ続けてたんだ”

“本当ならキリコたちに
手をかけても
おかしくない状況だった”

私たちにした話
全部ウソだった
ってこと？

そうだ…
すまない



事実を飲み込みなかったけど
心のどこかでミズキのことを
応援する自分がいた

ミズキ、これから
どこに行くんだろう？

“心配するな
信頼できる場所に
俺が預けた”

“俺が身を寄せたあの場所なら
心に光明を見出せるはずだ”

ってことは、ゲンジ
ここに残ってくれるの？

ああ…
逃げるのは
もうこれまでに

俺も一緒に
ハシモト組と戦おう

今夜の奇襲を受けて
奴らは総力をあげて
反撃するはずだ

望むところ！

私たちが
力を合わせたらどうなるか
奴らに思い知らせてやろう！

ハシモト組をまだ
倒したわけじゃない
でも、今は…

…希望の光が
私たちの前に広がってる